

a 学校教育目標	自らの夢に向かって考え、行動できる子供の育成 —自ら伸びる ともに伸びる—	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分で考え、みんなと考え、行動できる児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 児童、教職員、保護者が「自ら伸びる ともに伸びる」という教育風土を持った学校 ・基礎・基本が定着し、児童が主体的・対話的に深く学ぶ姿がある学校 ・児童が夢や志をもち、安心して生活できる学校
----------	--	----------------------	---

評価計画					自己評価				改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力	基礎学力の定着を図る。 「学び続ける」ためのコンピテンシー(知識・情報、思考力、表現力、主体性)を育成する。	「話す活動」「書く活動」の充実 すくすくタイム・のびのびタイム 実施	国語科・算数科・理科の単元末テストの結果(各学期)	各学期 各教科 平均85点以上	国語85.9 算数80 理科87.7	国語87 算数80.7 理科86.5	国語102% 算数95% 理科102%	B	国語と理科では、目標値を達成することができなかった。算数は達成している。個人差も大きく、思考・判断・表現の問題が平均点74で課題がある。個人差も大きく、思考・判断・表現の問題を解決するための基礎が定着していない。また、解くスピードも遅く、無回答になってしまう児童が多い。	研究の柱に沿って、授業改善を行い、学ぶ意欲の向上と確実な学力の定着を目指す。 教職員が協力して、TTや個別指導などを行う。	イ ロ ハ	○ ○	・工夫をしながら、基礎学力の定着を図れるよう取り組まれていると素晴らしい。	
			市標準学力調査(NRT)[知識・情報、思考力]	偏差値平均前年度以上 (同一集団による比較)	前年度偏差値48.6 本年度偏差値49.3	101%	学校全体の偏差値平均は、前年度より0.7ポイント向上させることができた。学年で見ると、4学級中2学級が前年度を上回った。授業改善やアシストシートを活用した成果が出たのではないかと考える。	前タイムにおいて、国語と算数の文法や四則計算など基礎基本の問題に取り組み、確実に定着させ、スモールステップで長文問題に取り組みさせていく。制限時間も設定し、読む・解くスピードを上げていく。	・学び合いの取組が成果にも表れていると思います。					
			児童アンケート「学び合いを通して、自分の意見を友達に伝えることができましたか。」「表現力、主体性」	肯定的評価80%以上	88%	89%	111%	A	表現力、主体性をみとめる児童アンケートは、肯定的評価90%前後で推移している。自分の考えを友達に伝えることができるようになってきている。しかし、自分の考えを学級全体に交流することには課題がある。	引き続き、学び合いで自分の考えを伝えることに自信を持たせ、授業の中で、全体に分かり易く説明する場を設定し、表現力のさらなる向上を目指す。 ICTを活用した授業づくりを行う。			・読書については本の内容やページ数もあると思うので、評価は難しい。 ・読書習慣化を目指した取組については、指標が適切であるか、検討してもよいと思います。	
豊かな心の育成	集団として必要な基本的な生活習慣の定着と幼保小中連携の充実を図る。 自分を愛する心や思いやりの心、態度を育てる。	「挨拶」「返事」「靴そろえ」の強化月間の実施 お互いを認め合う活動の充実	教職員及び児童アンケートによる評価「4段階3評価以上」(4月・9月・1月)	肯定的評価全項目平均80%以上	92%	95%	119%	A	・児童自身の気になっている事について委員会話し合いを行い、毎月の目標にして継続して取り組むことができた。来年度も児童会を中心に児童が意識につながったのではないかと考える。	・児童自身が気になっている事について委員会話し合いを行い、毎月の目標にして継続して取り組むことができた。来年度も児童会を中心に児童が意識につながったのではないかと考える。	イ ロ ハ	○ ○ ○	・取組が集団づくりにつながり成果として表れていると思います。 ・キラキラカードの取組がよくできていた。他者のよさに気づく力・認める力・肯定感等豊かな心の育成につながるものだと思います。 ・キラキラカードの取組を継続し定着していることがよい。	
			児童アンケートによる評価「自分にはよいところがある」(4段階3評価以上)(4月・9月・1月)	肯定的評価全項目平均80%以上	83%	83%	104%	A	・今年度は目標枚数を設定し、児童会を中心に毎日キラキラカードの枚数やカードについて放送する取組を継続して行った。来年度もいろいろな取組を取り入れながら児童の自己肯定感を高める取組を行っていきたい。	・今年度は目標枚数を設定し、児童会を中心に毎日キラキラカードの枚数やカードについて放送する取組を継続して行った。来年度もいろいろな取組を取り入れながら児童の自己肯定感を高める取組を行っていきたい。				
健やかな体の育成	基本的な生活習慣の定着を図る。 生涯にわたる健康に対する高い意識を育て、体力の向上を図る。	「早寝」「朝ごはん」の取組の実施 ・体育授業の工夫及び改善 ・外遊びやなわとびの奨励	・児童アンケート「決めた時刻に寝ていますか」「毎日、朝食を食べていますか」(4段階3以上)(4月・9月・1月)	肯定的評価80%以上	早寝71% 朝ごはん95%	早寝68% 朝ごはん94%	早寝85% 朝ごはん118%	B A	発達段階に即した系統的な内容で保健指導を実施した。児童保健給食委員会では掲示物の作成、インタビュー及び放送など、保健を中心とした取組を行った。また、保健だけでなく生活習慣の定着に関する内容を掲載し、保護者への啓発を行った。しかし、高学年だけでなく低学年も就寝時刻が遅い傾向が見られる。	生活習慣の定着に向けて系統的な保健指導を実施する。実態に応じてメディアとの付き合い方等にも触れ生活の改善につなげていくとともに、個別の指導も行い定着を図る。また、保健給食委員会でも基本的な生活習慣の重要性について全校に発信していく。保護者へも保健日より等を活用し、粘り強く啓発する。	イ ロ ハ	○ ○	・朝食摂取ができていない児童が約5%いることが気になります。基本的な生活習慣の定着は家庭の力が大きく影響すると思います。取組を継続してください。	
			・体力テスト「握力」の結果(6月・1月) ・児童アンケート「週3日以上外遊びをしていますか」「なわとびが楽しいですか」(4段階3以上)(4月・9月・1月)	・6月の数値を1月に上回る児童 90%以上 ・肯定的評価 80%以上	— 外遊び75% なわとび71%	6月比握力92% 外遊び77% なわとび79%	握力102% 外遊び96% なわとび99%	A B B	体育の授業やレクリエーションで使える運動について職員研修を行った。また朝の会でグーパー運動を取り入れた。宿題として実施させたりして継続した取組を行った。その結果1月には多くの児童が6月の数値を上回った。なわとびカードの活用やなわとび台の設置、担任の声かけ等により休憩時間以外で積極的に体を動かす児童が増えている。	今後も職員研修を行い、体育の授業の充実を図る。また、休憩時間に学級で目標を決めて取り組むなど、指導方法を工夫し楽しく体を動かすことができるようにしていく。体育授業や休憩時間等、様々な場面を活用し「体を動かすことが楽しい」「運動が好き」という気持ちを育み、体力の向上につなげていく。			・基本的な生活習慣が学力・体力の土台となるので、保育所も根気よく取組むことを思った。	
働き方改革	学習指導要領改訂や新たな教育課題等に適切に対応できる学校体制を構築し、教育の質の向上を図る。	地域・保護者が有する教育力との連携を図り、地域に開かれた教育課程の実現を目指す。 教職員の長時間勤務を縮減し、健康で生き生きとやりがいをもって勤務できる環境づくりを推進する。	地域の教材化と地域GT招聘の実施回数による評価	各学年年間2回以上	100% (1学期末現在のべ8回実施)	100% (2学期末で13回実施)	100% (各学年2回以上達成)	A	・各学年予定通り地域の教材化とGTの招聘を行うことができ、地域への愛着をもつ活動を行うことができた。	・今後も、地域の教材化や地域人材の活用を進め、児童の郷土愛を育むとともに、学校外の人と接する機会をもつことで、児童が多様な価値観に触れる場を提供していく。	イ ロ ハ	○ ○	・地域とのつながりを大切にしながら取組まれていることは素晴らしいことだと思います。	
			市の「学校における働き方取組方針」の「勤務上限の目安時間」の達成(時間外の勤務時間が、月45時間を超えない。)	100%達成	87%	88%	88%	B	・月45時間を超えないように働きかけたが、45hを超えてしまうことが多い。しかし、勤務時間外の平均時間は短くなっている。	・水曜日の定時退校日の完全実施や学期末の成績処理時間を確保する等、業務改善に努め、月の途中で職員全体の勤務時間を確認し声かけ等を行っていく。			・先生方が健康でいることが児童により良い学びの環境を提供できる。今後とも努力をお願いします。	

【j:自己評価 評価】
A:100≧(目標達成)
<100
B:80≧(ほぼ達成)
【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。